

県政報告

深谷市・寄居町・県北から埼玉の未来を創る



# 神尾たかよし

第11号

## 平成24年度 当初予算可決!

一般会計 1兆6,777億2,200万円 《前年度比 0.7%減》  
 (全会計合計 2兆3,974億 8,702万円) 《前年度比 2.6%増》



平成24年 2月定例会は 2月20日から 3月26日までの36日間で、審議されました。

当初予算においては、**三大プロジェクト**(埼玉エコタウンプロジェクト・埼玉版ウーマノミクスプロジェクト・健康長寿埼玉プロジェクト)をはじめとし「**安心・成長・自立自尊の埼玉**」への実現に向けて限りある財源を効果的に配分する予算編成が可決されました。



### 予算特別委員会 総括質疑(3月7日)

#### 1 埼玉版ウーマノミクスプロジェクトについて

- Q** 保育所の整備について、現状と今後の取り組みは？  
**A** 女性の活躍が期待される昨今、待機児童の解消を一番の眼目とし考えたい。ただ、間違っても保育所がコインロッカーではない事を打ち込み、かつ親の愛情をしっかりと受けられるような仕組み作りをアピールしてゆきたい。(上田県知事)
- Q** 待機児童の減少のため、地域主権改革における義務付け・枠付けの見直し制度活用する考えはあるか？  
**A** 条例、基準づくりも事例を見ながら良いところは何らかの形で取り入れるべきと考えている。(上田県知事)

#### 2 健康長寿埼玉プロジェクトについて

- Q** 科学的な根拠に基づき、徹底した健康指導と体力づくりにより、高齢者の医療費の低減を図るべきと思うが、どのように考えるか？  
**A** どんな運動でも、継続的にやれば一定の成果は出るので、体力づくりについてもしっかり取り入れていきたい。(上田県知事)

#### 3 農業の普及指導員について

- Q** 普及指導員の在り方と必要性について？  
**A** 高度な専門知識をもってコーディネートできる普及指導員が必要だ。人数もさることグルーピング、配置について確認をしていきたい。(上田県知事)

#### 4 グローバル人材の育成について

- Q** ALT(外国語指導助手)の派遣対象の拡大に取り組むべきと思うが、どのように考えるか？  
**A** 今後子供たちが小さいうちから、外国の方と触れ合うことができるよう、ALTを活用した効果的な取り組み事例を、市町村に積極的に情報提供していく。(教育長)

#### 5つの委員会に所属しました。

- ①議会運営委員会
- ②企画財政常任委員会 委員長
- ③次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会
- ④5か年計画特別委員会
- ⑤予算特別委員会

# 県立がんセンター新病院の 建設工事進捗状況を報告します!



平成25年  
完成!

森の中にある 人にやさしい  
高度医療機関をめざして



コミュニティラウンジ



ホスピタルストリート(玄関を望む)



相談支援センター



手術室



埼玉県 伊奈町

## 高度先進がん医療を実践する病院

- 1. 高度先進がん医療の提供**
- 3大治療(集学的がん治療)の強化
    - ①手術
      - 手術室を増設(7室→12室 高度先進手術に対応)
    - ②放射線治療
      - 治療室を増設(3室→4室 最先端治療に対応)
    - ③化学療法
      - 外来用ベッドを増床(43床→60床 国内最大級へ)
  - がん医療の拠点機能充実
    - 待機患者の解消
      - ・ 病床数を100床増床(400床→500床)
      - ・ HCU(準集中治療室)を新設(16床)
    - 緩和ケアの充実
      - ・ 緩和ケア病棟を倍増(18床→36床)
    - 相談支援センター機能の充実
      - ・ 専用相談室を設置(6室)
  - 3. 拡張性の確保
    - 将来の機器増設や増築に対応

建 物 概 要	建設場所	伊奈町小室771-1ほか
	敷地面積	77,740㎡(東側駐車場含む)
	建築面積	13,798㎡
	延べ面積	61,080㎡(本館棟)、966㎡(付属棟)
	階数	地下1階/地上11階
	最高高さ	48.67m
	構造	鉄筋コンクリート造(免震構造)
	駐車台数	620台

## 日本一患者と家族にやさしい病院

- 1. 明るく開放的な空間**
- 病院であることを忘れさせるホスピタルストリート
    - ・ 幅10m、長さ約85mの2層吹抜け大空間
    - ・ トップライトに太陽光発電併用半透明ガラスを採用
  - 自然を感じることができる屋上庭園
- 2. 心のケアへの配慮**
- ボランティアによる癒し
    - ・ 講堂、ラウンジ、ギャラリー、音楽室を設置
  - 家族とのふれあい
    - ◎ 病棟には団らんスペースを随所に設置
  - 落ちつきのある和の空間の創出
    - ・ 病室や外来に木材、和紙などの自然素材を活用

## 災害対策及び省エネ、省CO2 対策

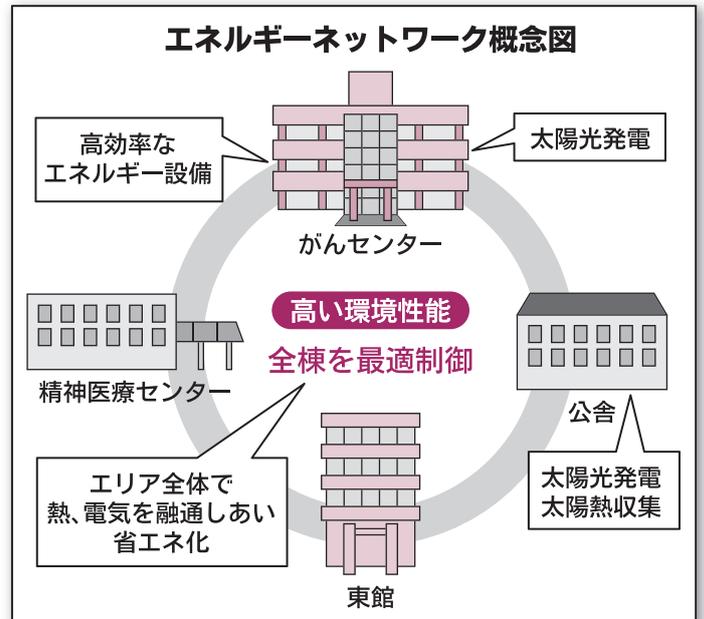
### 東日本大震災を教訓に以下の対策を実施

#### 1. 災害対策の強化

- 非常用発電機を2台設置
- 飲料用の井戸水浄化設備を設置
- ホスピタルストリートに医療設備を設置

#### 2. 省エネ、省CO2 対策の強化

- LED照明、Low-Eガラスを大幅に採用
- がんセンター新病院を核にエネルギーネットワークを構築



## 建設工事進捗状況

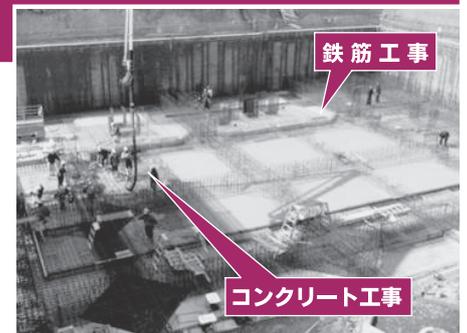
地下躯体工事を行うための仮設構台が完成し、2次掘削工事が完了したエリアから、順次、基礎の配筋工事とコンクリート工事を実施しています。



▲新病院建設敷地

### 工事スケジュール

	平成23年度												平成24年度												平成25年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
新病院建設工事	準備工事																																			
	着工																																			
													掘削工事																							
													山留・杭工事																							
													基礎・地下躯体工事																							
																									地上躯体工事											
																								仕上げ工事等												
																								外構工事												
																								機器調整等												
																								引越し・開院												



▲基礎躯体工事の状況

2次掘削が終了した北西側から、基礎躯体の鉄筋を設置してコンクリートを打設しています。



▲コンクリート工事の状況

建物の一番下の耐力版のコンクリートを打設しています。



▲仮設構台の状況

クレーンと仮設構台を利用しながら、基礎躯体工事を進めています。

# 三大プロジェクトの実現に向けて

## 埼玉エコタウンプロジェクト

### 予 算 (1億4,600万円)

- プロジェクトの推進支援 ……4,600万円
- エネルギー自立に向けた地域づくりの促進 (ふるさと創造資金) ……1億円

地域全体で再生可能エネルギーの導入や徹底した省エネルギー化に取り組み、エネルギーの地産地消を進める「埼玉エコタウンプロジェクト」をモデル的に展開します。

地域のエネルギー自立に向けて、地域特性を活用した再生可能エネルギー設備の導入や徹底した省エネルギーへの転換など創エネ・省エネによる地域づくりに取り組む市町村を支援。

## 埼玉版ウーマノミクスプロジェクト

### 予 算 (約73億円+融資枠100億円)

- 仕事と子育てを両立するための多様な働き方の推進 ……3,200万円
- 保育サービス受入枠の拡大 (受入枠4,000人文の拡大) ……53億円
- 多様な保育サービスの充実 ……18億2,800万円
- 女性起業家や女性経営者への金融支援 ……100億円

女性の力が原動力となって経済の好循環が生まれる「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を展開します。

女性が働くための条件となる、保育サービス受け入れ枠の拡大・多様な保育サービスの充実等を整備します。また、女性起業家・女性経営者を支援するため女性経営者支援資金を創設。

## 健康長寿埼玉プロジェクト

### 予 算 (約16億円)

- 健康長寿埼玉プロジェクトの推進 ……9,300万円
- がん対策の推進 ……4,500万円
- 健康増進事業への支援 ……1億1,800万円
- 特定健康診査・特定保健指導への支援 ……13億1,500万円
- 健康審査の受診促進 ……1,700万円
- 健診データ等の解析 ……1,800万円

徹底した保健指導、健康づくりの継続、就労と住民参加の促進を通じて、健康でいきいきと暮らせる「健康長寿埼玉プロジェクト」をモデル的に展開します。

小鹿野町での検証を踏まえた「健康長寿埼玉モデル」の取り組みを都市部へ展開し、モデル都市(東松山市・朝霞市・坂戸市)との共同事業の成果を県内へ普及。

## 埼玉県立農業大学校の移転スケジュールが変更されることになりました。

平成25年4月に現在の鶴ヶ島から熊谷に移転する予定で、用地買収等進めていましたが、現地に「オオタカ」の営巣が見つかったことにより、「オオタカ等保護指針」に基づき、2営巣期を含む1.5年以上の生体調査が必要となりました。開校期日は2年先の平成27年4月に延期されました。



## 「第10回渋沢栄一賞」授賞式が行われました

2月12日、栄一翁生誕の地である深谷市で授賞式が開催されました。栄一翁没後80年を記念し、深谷駅北口のからくり時計完成除幕式も行われました。